

第3学年 道徳学習指導案

平成24年10月23日(火) 第5校時

- 1 主題名 みんなのためにできることを 【4-(2) 勤労・社会への奉仕】
- 2 資料名 草むしりボランティア (出典:埼玉県教育委員会 彩の国道徳資料「みんななかよし」)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、中学年内容項目の4-(2)「働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。」ことをねらいとしている。この内容項目「勤労・社会への奉仕」は、低学年の内容項目4-(2)「働くことよさを感じて、みんなのために働く。」を経て、高学年の内容項目4-(4)「働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。」と発展していく。仕事に対して誇りや喜びを持ち、働くことの意義を自覚し、進んで社会に役立とうとする心を持った児童を育てる内容項目である。

人間として生きていくには、仕事に誇りと喜びを見だし、将来や社会に対する夢と希望、そして生きがいをもって仕事に取り組むことが大切である。働くことは、単に自分が生活していくだけでなく、自分に課せられた社会的責任を果たすという意味においても重要なことである。この段階においては、働くことの楽しさや喜びの体験を積むことによって、自分の役割を果たし、力を合わせて仕事をする大切さを理解できるようにするとともに、進んで働こうとする態度を育てる必要がある。特に、今の生活の中で、みんなのためにできることについて考え、仕事を見つけたり、それに参加したりして、実践に結びつけていくことができるような態度を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、素直で明るく元気な子が多い。サッカーが好きな男子児童が多く、休み時間などは半数以上が参加し遊んでいる。清掃活動では、チャイムが鳴ると、時間を守って戻ってきて、声を掛け合って意欲的に取り組む姿が見られる。また、習字で墨をこぼした子がいると、席が近くの子たちがすぐにぞうきんを出して、後始末を手伝う場面が何度もあった。学級でお手伝いを募集すると、すぐにたくさんの児童が集まってくる。しかし、仕事の内容を理解しみんなで協力して取り組むめばよいものを、自分が自分がという態度でかえって作業の妨げになるような行動をとってしまう児童もみられる。

そこで、勤労・奉仕に対してどのような考え方をしているか知るために、次のようなアンケート調査を実施した。結果は以下のようである。

アンケート調査結果 (平成24年9月4日実施 実施人数30名)

①あなたは 人のためにはたらいたり、やくに立ったことがありますか。

ある 19 ない 11

○ある人にききます。それはどんなときですか。

床にこぼれた水をふいた。 鼻血を出した子にティッシュを貸した

道のゴミを拾った 給食セットの準備をしてあげた 2 忘れ物を届けた

お年寄りの荷物を持ってあげた 落としたもの拾ってあげた 困っていたので助けた

家の手伝いをした 4 倒れている自転車を立ててあげた

②かかりの仕事やくさむしりをしているとき、どんなことを思いながら仕事をしていますか。
 きれいにするぞ 10 仕事をきちんとやろう 3
 やるぞー、がんばらなくちゃ 4 しごとをするとさっぱりする
 いい気持ち たいへんだなあ

③「はたらく」ということはどういうことだと思いますか。
 みんなのやくにたっている 20 お金がもらえる
 人のためによいことをすること 2 みんなのことを思って行動すること
 やくにたって、ほめられるからいい気持ち

この結果から、半数以上の児童はみんなのために働いたことがあると答えている。その内容は、個人に対しての行動が多く、みんなのためにといった行動は少ない。「はたらく」ということはみんなのためにすることであり、係や草取りなどのボランティアを行うときには、きちんとやろうという気持ちの児童が多い。

そこで、本資料を通して、サッカーと草むしりボランティアで悩んだ主人公が、最終的にボランティアを選び、サッカーでは得られなかったであろう、達成感や満足感を感じている姿を通して、みんなのために働くことは気持ちがいいことであることに気付かせ、実践に結びつけていくことができるようにしたい。

(3) 資料について

梅雨の季節に入ったある日、朝の会で先生が「最近、校庭にたくさんの草がはえてきてしまいました。今日は久しぶりに晴れたので、昼休みに草むしりボランティアを募集します。参加できる人はお願いします。」という話をした。ぼくたちも、久しぶりに晴れたので昼休みにサッカーをする約束をしていた。ぼくは、参加しようと思いつつも友達に相談すると、「先生は、できる人はといた。」「自分たちの約束の方が先だ。」といわれ、本当にサッカーをやっているのかなあと思いつつもサッカーを選択してしまう。久しぶりのサッカーで夢中になってやっていたが、ふと周りを見ると1・2年生が小さな手で一生懸命草むしりをしている姿や上級生が草を集めている姿を見て、胸がぎゅっと締め付けられる気がした。その後、すぐに草むしりの輪に加わり、後から加わった友達と時間いっぱい草むしりを行った。草むしりボランティアを終えて、笑顔で教室にもとるとき窓から見た校庭がきらきら輝いて見えたという話である。

まず、先生から「参加できる人は草むしりボランティアをお願いします。」という話を聞いたときの場面では、自分のやりたいことを優先しようとする主人公の気持ちに共感させたい。次に、たくさんの人が草むしりボランティアをしている姿を見て、胸がぎゅっと締め付けられる気持ちがした場面では、働くことの大切さに気づいていく主人公の心の動きをじっくり考えさせたい。笑顔で「お疲れ様」をした「ぼく」は、教室にもどりながらきらきら輝く校庭を見た場面では、力を合わせて働くことの気持ちよさを感じ、進んで働こうという気持ちが高まっていく主人公の思いを感じ取らせ、ねらいとする価値に迫りたい。

4 研究主題との関連 〈研究主題〉

心豊かにたくましく生きる児童を育てる道徳教育の研究 一人としてよりよく生きようとする児童の育成
《めざす児童像(中学年)》 学校の決まりや約束を守り、相手の立場を考えて互いに助け合おうとする子

仮説1
 1時間の道徳の時間の展開を工夫し、児童の心に響く授業を展開できれば、道徳的実践力を高めることができ、豊かな児童が育つであろう。

仮説1にせまるために、次のような手立てを考えた。

①効果的な資料の活用と提示の工夫

- ・事前にアンケート調査を実施し実態把握を行うことで、資料を効果的なものにする。

②役割演技の活用

・主人公の気持ちに共感させるため、役割演技を活用する。

③板書の工夫（心のてんびん）

・主人公の心の葛藤を視覚的にとらえ、主人公の気持ちに共感させるために活用する。

④ワークシートの工夫

・本時の内容を振り返りながら自分の考えをワークシートに記入し、本時の道徳的価値に結びつける。

仮説 2

教育に関する3つの達成目標（規律）との関連を図り、保護者・地域との連携を充実させれば効果的な道徳教育の展開ができ、心豊かな児童が育つであろう。

仮説 2 にせまるために、次のような手立てを考えた。

①学校での児童のようすを懇談会、道徳だより「心のリボン」等で保護者に伝える。

②地域のゲストティーチャーを活用する。

5 本時の学習指導

(1) ねらい

○働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働こうとする態度を育てる。[内容項目 4—(2)]

(2) 展開

※研究主題と関連があるもの

段階	学習活動	主の発問 (○) と予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点 ◇評価	時間
導入	1 みんなのために働いたり、活動したことはありますか。		・経験を発表することによりねらいとする道徳的価値への方向付けをする。	5分
とらえる展開	2 資料の概要・登場人物について知る。		・登場人物や条件・状況をとらえられるように、説明を加える。	7分
	<p>登場人物 ぼく たつや君 なおと君</p> <p>状況 広いのが自慢の校庭、夏に近づくにつれてたくさん草が生えてきた。ときどき全校のみんなに声をかけて草むしりボランティアの募集がある。梅雨の季節のある日、朝の会で今日は久しぶりに晴れたので昼休みに草むしりボランティアの募集があった。ぼくは、昼休みに久しぶりにサッカーをやる約束をしていた。僕が困った顔で、なかよしのたつや君となおと君の方を見ると二人とも同じ顔をしてこちらを見ていた。</p>			
	3 「ぼく」の気持ちを考えながら判読を聞かせる。	○自分だったらどうするか「ぼく」の気持ちと比べながら聞きましょう。	・「ぼく」の気持ちや状況がわかるように判読する。 ・「ぼく」と同じ気持ちのところや違っているところに線を引かせながら聞かせる。	
深め	4 主人公ぼくの気持ちや考えを中心に話し合う。 (1) 先生から「参加できる人は草むしりボランティアをお願いします」	○「最初からサッカーをやる約束をしていたんだから、そっちが優先だよ。」と二人に言われた	○梅雨の季節に入ったある日、久しぶりにサッカーができることから、自分	23分

る

す。」という話を聞いたときのぼくの気持ちを考える。

(2) 夢中になってサッカーをしていて、ふと周りを見たとき、たくさんの人が草をむしっているのが目に飛び込んできたときのぼくの気持ちを考える。

(3) 草むしりボランティアを終えて、きらきら輝くグラウンドをみたときのぼくの気持ちを考える。

ぼくは、どんな気持ちになったのでしょうか。

- ・参加しなくていいのかなあ。
- ・久しぶりだからサッカーをやりたい。
- ・最初から約束をしていたし、先生は「できる人は」と言った。
- ・きっと誰かがやってくれる。
- ・最初遊んで、途中から加わろう。
- ・自分たちだけ遊んでいていいのかな。

○たくさんの人が草むしりボランティアをしている姿を見て、胸がぎゅっと締め付けられる気持ちがした「ぼく」はどんなことを考えたのでしょうか。

- ・やっぱりたくさん参加している。
- ・年下の子小さな手で草をむしっている。
- ・上級生も汗を流して一生懸命に働いている。
- ・下級生も上級生もみんなのためにはたらいっている。
- ・なんで今ぼくはサッカーをしているんだ。
- ・サッカーはいつでもできる。
- ・自分たちだけ遊んでいていいのか。
- ・恥ずかしい。
- ・はじめから参加していればよかったなあ。

○笑顔で「お疲れ様」をしたぼくは、教室のもどりながらどんなことを考えたでしょう。

- ・少し遅れたけれど、参加してよかった。気持ちがいい。
- ・悩みがなくなって気持ちがすっきりした。
- ・校庭がきれいになってよかった。
- ・これでみんな安心して遊べる。
- ・みんなでやるときれいになるなあ。
- ・サッカーはできなかったけど気持ちいいなあ。

のやりたいことを優先しようとする主人公の気持ちに共感させる。

※役割演技によって、サッカーに傾く主人公の気持ちに共感させたい。

◇せっかく久しぶりにサッカーができるのだからサッカーを優先させたいという気持ちに共感できたか。【観察・発表】

○自分よりも年下の子もまだが、汗を流しながら働いている様子を見て、働くことの大切さに気づいていく主人公の心の動きをじっくり考えさせる。

◇自分よりも年下の子もまだが、汗を流しながら働いている様子を見て、働くことの大切さに気づいていく主人公の心の動きを理解することができたか。【観察・発表】

○力を合わせて働くことの気持ちよさを感じ、進んで働こうという気持ちが高まっていく主人公の思いを感じ取らせる。

◇みんなのために進んで仕事をするものの大切さと充実感を感じさせることができたか。【観察・発表】

見 5 今までの自分を振り返りながら、みんなのた

・床にこぼれた水を拭いてあげた。
・給食の準備をしてあげた。

○ワークシートに記入させ本時の内容を振り返り、

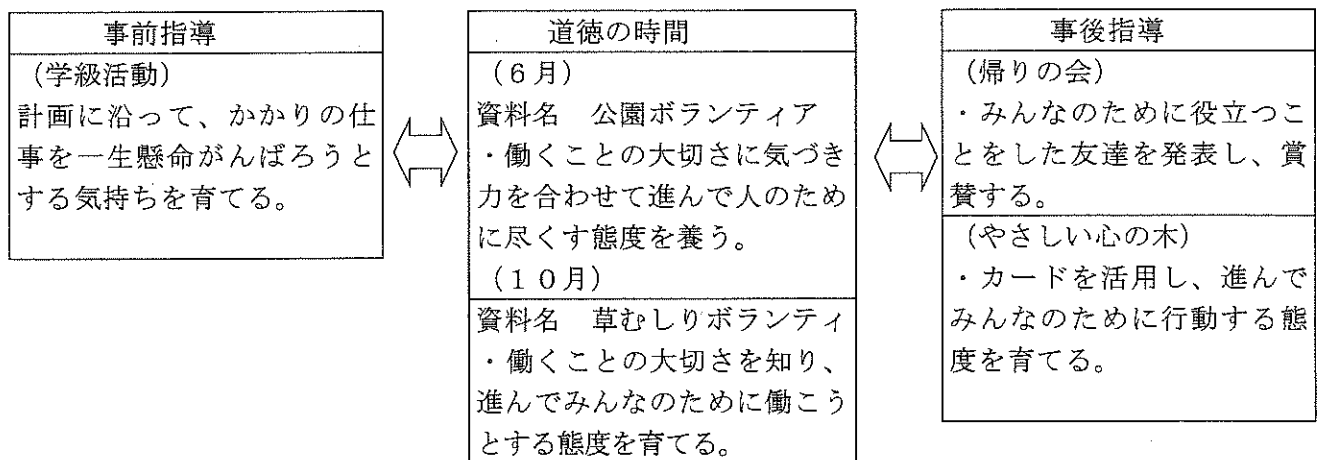
7分

める	めに役だったことを考える。	・ハウセンカに水をあげた。 ・係や日直に仕事を手伝った。	みんなのために自分ができたことを想起し、進んで働こうとする意欲を高める。	
終末	6 ゲストティーチャーのお話を聞く。		※ねらいとする価値への印象付けを通し、実践への意欲を持たせる。	3分

6 評価

◇働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働こうとする態度が育ったか。

7 他の教育活動との関連



8 板書計画

○ みんなのために

場面絵

できることをやっています

○ 輝くランド。
やっつけてよかったです。
きもちがいいな。遊べた。
安心して遊べる。
みんなできれいになる。

○ たくさんの人が草むしりをしていて、年がゆつめつけられている。何やっていたか、手伝わなくていいんだ。手伝わなくていいんだ。草取りは大切

絵

いいのかなあ：
やったほうがいいのかなあ

場面絵

○ 草むしりボランティア
ぼくもボランティアをやりたい
サツカーをやらなくても
ボランテアがやらない
約束がある
久しぶり
サツカーをやりたい
ボランテアがやらない
誰かたちがやらない
できる人がやる

場面絵

○ 草むしりボランティア
ぼくもボランティアをやりたい
サツカーをやらなくても
ボランテアがやらない
約束がある
久しぶり
サツカーをやりたい
ボランテアがやらない
誰かたちがやらない
できる人がやる

9 資料分析表

資料名 「草むしりボランティア」【4-(2) 勤労・社会への奉仕

【スタートの条件・状況】

広いのが自慢の校庭、夏に近づくとたくさん草が生えてきた。ときどき全校のみんなに声をかけて草むしりボランティアの募集がある。

梅雨の季節のある日、朝の会で今日は久しぶりに晴れたので昼休みに草むしりボランティアの募集があった。ぼくは、昼休みに久しぶりにサッカーをやる約束をすでにしていた。僕が困った顔で、なかよしのたつや君となおと君の方を見ると二人とも同じ顔をしてこちらを見ていた。

【話題につなげたい場面】

【キーワード】

【話し合いの柱】

先生から「参加できる人は草むしりボランティアをお願いします。」という話を聞いた場面

- ・梅雨の季節に入ったある日。
- ・今日は久しぶりに晴れたので、昼休みに草むしりボランティアを募集します。
- ・参加できる人は、お願いします
- ・昼休みに久しぶりにサッカーをやろうと約束をしていた。
- ・ボランティアだから別にしなくてもよい。
- ・きっと誰かがやってくれる。
- ・「できる人は」と先生もいっていた。
- ・ぼくたちは最初からサッカーの約束をしていたんだから、こっちが優先。

先生から「参加できる人は草むしりボランティアをお願いします。」という話を聞いたときのぼくの気持ちを考える。

夢中になってサッカーをしていて、ふと周りを見たとき、たくさんの人が草をむしっているのが目に飛び込んできたときの場面

- ・それたボールを取りに行きながらふと周りを見た。
- ・たくさんの人が校庭のはじめに座って、草むしりをしているのが目に飛び込んできた。
- ・1・2年生は小さな手で草をむしっている。上級生は額に汗して草を集めている。
- ・ぼくは、その姿を見て胸がぎゅっと締め付けられる気がした。

夢中になってサッカーをしていて、ふと周りを見たとき、たくさんの人が草をむしっているのが目に飛び込んできたときのぼくの気持ちを考える。

草むしりボランティアを終えて、きらきら輝くグラウンドをみたときの場面

- ・時間いっぱい草をむしたぼくたちは、笑顔で「おつかれ様」をして教室に戻った。
- ・教室の窓からもう一度校庭をのぞいた僕の目には、きれいになった校庭がきらきら輝いて見えた。

草むしりボランティアを終えて、きらきら輝く校庭をみたときのぼくの気持ちを考える。

【ねらいとする人間像】 《内容項目 4-(2) 勤労・社会への奉仕》

働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働こうとする子